



平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年10月28日

上場会社名 ヒロセ通商株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7185 URL <http://hirose-fx.co.jp/>
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)細合 俊一
 問合せ先責任者 (役職名)取締役経営企画室長 (氏名)松井 隆司 (TEL) (06)6534-0708 (代表)
 四半期報告書提出予定日 平成28年11月11日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第2四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	3,476	—	927	—	895	—	537	—
28年3月期第2四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 29年3月期第2四半期 508 百万円 (—%) 28年3月期第2四半期 — 百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	92.72	88.12
28年3月期第2四半期	—	—

(注) 当社は、平成28年3月期第2四半期については、四半期連結財務諸表を作成していないため、平成28年3月期第2四半期の数値及び平成29年3月期第2四半期の対前年同四半期増減率を記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第2四半期	54,925	4,712	8.6
28年3月期	47,147	4,285	9.1

(参考) 自己資本 29年3月期第2四半期 4,705 百万円 28年3月期 4,285 百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	—	—	16.00	16.00
29年3月期	—	—	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	未定	未定

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

当社グループは金融商品取引業(外国為替証拠金取引事業)を営んでおり、当社グループの業績は外国為替の為替変動率やマーケット環境に大きく影響を受け、予測を行うことが困難であるため、連結業績予想を開示しておりません。この点を補うために、業績に重要な影響を及ぼす営業収益、顧客口座数、外国為替取引高、顧客預り証拠金について、月次ベースで開示しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 — 社(社名) 、除外 — 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 4「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

29年3月期2Q	5,884,000株	28年3月期	5,861,000株
29年3月期2Q	80,044株	28年3月期	80,000株
29年3月期2Q	5,793,166株	28年3月期2Q	—

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

(注) 当社は、平成28年3月期第2四半期については、四半期連結財務諸表を作成していないため、平成28年3月期第2四半期における期中平均株式数(四半期累計)を記載しておりません。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

当社グループは、「3. 平成29年3月期の連結業績予想」に記載のとおり、連結業績予想の開示を行っていませんが、この点を補うために、月次ベースでの営業収益、顧客口座数、外国為替取引高、顧客預り証拠金を開示しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(4) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、企業の収益、雇用環境の改善などがみられるものの、中国をはじめとする新興国の経済不安、米欧英各金融当局で必ずしも足並みを揃えられていない金融政策の先読みの難しさ、さらには海外政情の不安定さなどから、先行きの不透明感が拭えない状況となっております。

この点、当社グループの関連する外国為替市場におきましても、7月は、英国のEU離脱の影響や米国経済指標の良好な結果を受けて活発な取引が行われたものの、8月以降は、上述の先行き不安を反映し、様子見に転ずる投資家層も観察されました。大統領選やFOMC（米国の金融政策を決定する会合）による政策金利の動向を目前に控えた材料難もあり、外国為替相場の勢いが縮小しました。

国内外の政治経済情勢に漂う不透明感と不安定感に対処するため、当社グループとしては、とりわけ上場を果たした今年度、より一層《顧客満足度の向上》を経営の第一優先としているところです。そのために、顧客ニーズに対応した取引システムのバージョンアップや新規ツールの追加、真に投資家の役に立つ有力媒体経由の相場情報提供、そしてより新鮮で効果的な各種キャンペーンを実施して参りました。特にシステムツールの追加と相場情報について、より具体的には、7月より過去の取引データを基に自分の取引を簡単に分析してくれる「LION分析ノート」をリリースし、8月より日経CNBCにてFX取引に役立つ情報を提供するFX情報番組『FX経済研究所』の放送を開始いたしました。

その結果、当第2四半期連結会計期間末の顧客口座数は、417,686口座(前連結会計期間末比3.8%増)、顧客預り証拠金は41,698,005千円(前連結会計期間末比14.7%増)となりました。また、当第2四半期連結累計期間の外国為替取引高は2兆4,745億通貨単位となりました。

以上の結果、当社グループの当第2四半期連結累計期間の業績は、営業収益は3,476,079千円、営業利益は927,996千円、経常利益は895,606千円、四半期純利益は537,130千円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(総資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比較して7,778,218千円増加して、54,925,406千円となりました。これは主に外国為替取引顧客分別金信託の増加3,861,000千円、現金及び預金の増加2,530,764千円等により流動資産が7,737,585千円増加したことによるものです。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末と比較して7,351,805千円増加して、50,213,065千円となりました。これは主に顧客入金による外国為替取引預り証拠金の増加5,328,521千円、短期借入金の増加1,550,000千円等により流動負債が7,718,994千円増加したことによるものです。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末と比較して426,412千円増加して、4,712,340千円となりました。これは四半期純利益の増加により利益剰余金が444,634千円増加したことによるものです。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末と比べ1,697,610千円増加し、3,983,475千円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況と主な要因は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動により増加した資金は1,271,850千円となりました。これは主に外国為替取引預り証拠金の増加による収入5,328,521千円があった一方、外国為替取引顧客分別金信託の増加による支出3,861,000千円及び外国為替取引顧客差金(資産)の増加による支出1,492,830千円等があったことによるもの

です。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動により支出した資金は1,014,399千円となりました。これは主に定期預金の預入による支出2,865,000千円があった一方、定期預金の払戻による収入1,930,000千円があったこと及び無形固定資産の取得による支出63,691千円等があったことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動により増加した資金は1,468,047千円となりました。これは主に短期借入金の純増額1,550,000千円があった一方、配当金の支払額92,496千円等があったことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループは金融商品取引業（外国為替証拠金取引事業）を営んでおり、当社グループの業績は外国為替の為替変動率やマーケット環境に大きく影響を受け、予測を行うことが困難であるため、連結業績予想を開示しておりません。この点を補うために、業績に重要な影響を及ぼす営業収益、顧客口座数、外国為替取引高、顧客預り証拠金について、月次ベースで開示しております。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得する建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、当第2四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表への影響額はありません。

(4) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,848,422	7,379,186
外国為替取引顧客分別金信託	30,622,000	34,483,000
外国為替取引顧客差金	6,525,315	8,018,146
外国為替取引顧客未収入金	110,523	128,524
外国為替取引差入証拠金	4,305,514	4,136,895
外国為替取引自己取引差金	111,184	238,775
外国為替取引自己取引未収入金	126,688	28
貯蔵品	45,231	55,593
未収入金	38,957	25,340
未収還付消費税等	118,642	90,529
前払費用	32,471	48,273
繰延税金資産	44,149	41,866
その他	8,003	28,531
流動資産合計	46,937,104	54,674,689
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	40,451	37,390
車両運搬具(純額)	8,124	6,499
器具備品(純額)	17,314	16,462
有形固定資産合計	65,890	60,352
無形固定資産		
ソフトウェア	68,698	104,665
その他	246	246
無形固定資産合計	68,945	104,912
投資その他の資産		
長期前払費用	3,333	4,416
繰延税金資産	37,594	39,145
差入保証金	24,869	33,242
その他	19,698	18,037
貸倒引当金	△10,247	△9,390
投資その他の資産合計	75,247	85,452
固定資産合計	210,083	250,716
資産合計	47,147,187	54,925,406

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
負債の部		
流動負債		
外国為替取引預り証拠金	36,369,483	41,698,005
外国為替取引顧客差金	593,231	285,681
外国為替取引顧客未払金	694,812	1,033,120
外国為替取引自己取引差金	22,667	26,520
外国為替取引自己取引未払金	1,054	322,419
短期借入金	3,100,000	4,650,000
1年内返済予定の長期借入金	—	500,000
未払金	342,874	343,336
未払費用	39,545	34,897
未払法人税等	377,330	379,602
賞与引当金	52,351	62,979
資産除去債務	—	511
その他	47,059	22,330
流動負債合計	41,640,411	49,359,405
固定負債		
長期借入金	500,000	—
退職給付に係る負債	35,410	38,212
役員退職慰労引当金	685,344	815,141
資産除去債務	94	307
固定負債合計	1,220,848	853,660
負債合計	42,861,260	50,213,065
純資産の部		
株主資本		
資本金	790,668	794,118
資本剰余金	408,228	408,228
利益剰余金	3,110,853	3,555,488
自己株式	△26,400	△26,446
株主資本合計	4,283,349	4,731,387
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	2,578	△26,186
その他の包括利益累計額合計	2,578	△26,186
新株予約権	—	7,140
純資産合計	4,285,927	4,712,340
負債純資産合計	47,147,187	54,925,406

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)
営業収益	
外国為替取引損益	3,468,068
外国為替取引受取手数料	557
その他の営業収益	7,453
営業収益合計	3,476,079
営業費用	
販売費及び一般管理費	2,548,083
営業利益	927,996
営業外収益	
受取利息	1,122
貸倒引当金戻入額	784
為替差益	931
その他	944
営業外収益合計	3,781
営業外費用	
支払利息	35,918
その他	252
営業外費用合計	36,170
経常利益	895,606
税金等調整前四半期純利益	895,606
法人税、住民税及び事業税	357,745
法人税等調整額	731
法人税等合計	358,476
四半期純利益	537,130
親会社株主に帰属する四半期純利益	537,130

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)
四半期純利益	537,130
その他の包括利益	
為替換算調整勘定	△28,764
その他の包括利益合計	△28,764
四半期包括利益	508,365
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	508,365

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	(単位：千円)
	当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	895,606
減価償却費	38,162
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△857
賞与引当金の増減額 (△は減少)	10,627
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	2,802
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	129,797
受取利息及び受取配当金	△1,122
支払利息	35,918
為替差損益 (△は益)	△877
外国為替取引顧客分別金信託の増減額 (△は増加)	△3,861,000
外国為替取引顧客差金 (資産) の増減額 (△は増加)	△1,492,830
外国為替取引顧客未収入金の増減額 (△は増加)	△18,000
外国為替取引差入証拠金の増減額 (△は増加)	168,619
外国為替取引自己取引差金 (資産) の増減額 (△は増加)	△127,590
外国為替取引自己取引未収入金の増減額 (△は増加)	126,659
貯蔵品の増減額 (△は増加)	△10,361
未収入金の増減額 (△は増加)	11,982
未収還付消費税等の増減額 (△は増加)	28,113
前払費用の増減額 (△は増加)	△14,760
外国為替取引預り証拠金の増減額 (△は減少)	5,328,521
外国為替取引顧客差金 (負債) の増減額 (△は減少)	△307,550
外国為替取引顧客未払金の増減額 (△は減少)	338,308
外国為替取引自己取引差金 (負債) の増減額 (△は減少)	3,852
外国為替取引自己取引未払金の増減額 (△は減少)	321,365
未払金の増減額 (△は減少)	△2,450
未払費用の増減額 (△は減少)	△3,577
その他	71,682
小計	1,671,042
利息及び配当金の受取額	2,757
利息の支払額	△38,031
法人税等の支払額	△363,917
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,271,850

(単位：千円)

当第2四半期連結累計期間
(自 平成28年4月1日
至 平成28年9月30日)

投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出	△2,865,000
定期預金の払戻による収入	1,930,000
有形固定資産の取得による支出	△2,663
無形固定資産の取得による支出	△63,691
長期前払費用の取得による支出	△3,000
その他	△10,044
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,014,399
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額 (△は減少)	1,550,000
株式の発行による収入	3,450
新株予約権の発行による収入	7,140
自己株式の取得による支出	△46
配当金の支払額	△92,496
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,468,047
現金及び現金同等物に係る換算差額	△27,887
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,697,610
現金及び現金同等物の期首残高	2,285,864
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,983,475

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社グループの事業セグメントは、外国為替証拠金取引事業を主要な事業としており、他の事業セグメントの重要性が乏しいため、記載を省略しております。